

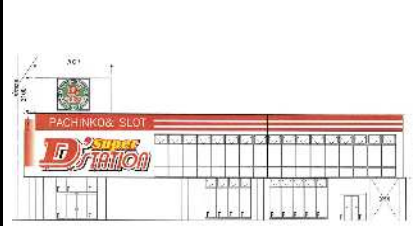
この評価ソフトは、改正省エネ基準の経過措置が終わる2015年3月までの期間限定で使用できます。

CASBEE 新築[簡易版]

評価結果

使用評価マニュアル: CASBEE-新築(簡易版)2010年追補版Ver.2(BPI/BEI対応) 使用評価ソフト: CASBEE-NCb_2010bpi&bei(v.2.1)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)平塚増築工事	階数	地上2F地下1F
建設地	平塚市紅谷町13番10、17、18	構造	S造
用途地域	商業地域、防火地域	平均居住人員	1,050 人
気候区分		年間使用時間	4,500 時間/年
建物用途	集会所	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2014年11月 予定	評価の実施日	2014年6月20日
敷地面積	1,700 m ²	作成者	アイテック一級建築士事務所
建築面積	1,546 m ²	確認日	2014年6月20日
延床面積	2,986 m ²	確認者	アイテック一級建築士事務所



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 0.7

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算
 30% 60% 80% 100% 100%超
 建設 修繕・更新・解体 運用 オンサイト オフサイト

参照値: 100%
 建築物の取組み: 109%
 上記+: 109%
 上記+: 109%

(kg-CO₂/年・m²)

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

Q2 サービス性能: 5
 Q1 室内環境: 4
 Q3 室外環境(敷地内): 3
 LR1 エネルギー: 2
 LR2 資源・マテリアル: 3
 LR3 敷地外環境: 2

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質 Qのスコア = 2.7

Q1 室内環境 Q1のスコア = 2.5

Q2 サービス性能 Q2のスコア = 3.5

Q3 室外環境(敷地内) Q3のスコア = 2.1

LR 環境負荷低減性 LRのスコア = 2.6

LR1 エネルギー LR1のスコア = 1.8

LR2 資源・マテリアル LR2のスコア = 3.5

LR3 敷地外環境 LR3のスコア = 2.8

3 設計上の配慮事項		
総合	照明器具にLED照明を採用するなど、省エネルギーに配慮した設備機器を採用している。	その他
Q1 室内環境	複層ガラスの採用、断熱材の強化により外皮性能を上げているなど、温熱環境に配慮している。 F 建材を全面的に採用するなど、空気質環境に十分配慮している。	Q2 サービス性能
LR1 エネルギー	LED照明を採用し、設備システムの高効率化に配慮している。	LR2 資源・マテリアル
		LR3 敷地外環境
		その他

CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Building Environmental Efficiency (建築物の環境効率)
 「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される